

# 土の活力

# ラインアップ 春～夏播き緑肥作物



## ヘイオーツの特性

- エンバクの野生種です。
- ダイコン・ニンジン・ゴボウ・ナガイモ等の大敵：キタネグサレセンチュウを退治します。
- ニンジン・ゴボウ等の大敵：キタネコブセンチュウを抑制し、被害を少なくします。
- 緑肥用エンバクに比べ、分ゲツが多く、茎葉豊富で極多収。
- 出穂が遅く、炭素率が低いいため、すき込み後の分解が早い。
- 種子が小さく、栽培が容易です。

## ソフィアの特性

- ソフィアは従来のヒマワリより明らかに極早生・短桿のミニヒマワリです。
- 茎が太く耐倒伏性に優れる
- エンバク以上に根張りが優れ、粗大有機物の確保が可能です。
- リン酸を有効利用できるVA菌根菌の感染率が高く、後作物が多収になります。
- パーティシリウム病抵抗性に優れる。

雪印の緑肥作物一覧表

区別	品種名	作物名	分類	緑肥のタイプ						線虫抑制		緑肥の効果		VA菌根菌	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風作物	景観美化	播種量 (kg/10a)	播種期 (月・旬)	すき込期 (月・旬)	窒素素減肥の目安 (kg/10a)	特 性	
				短期休閑	後作緑肥	休閑緑肥	間作緑肥	越冬緑肥	施設ハウス	キタネグサレ	キタネコブ	サツマイモネコブ	有機物の補給												窒素の固定
線虫抵抗作物	ヘイオーツ	エンバク	イネ科	○						○	○	○	○	○							10~15	5上~6中	7中~8中	1~4	初期生育旺盛、細茎、多葉で極多収。 根作物の大敵・キタネグサレ、キタネコブセンチュウを抑制。センチュウ対策は15kg、9月播きは20kg播種(タマネギ跡)。
	つちたろう	ソルゴー					○					○	○	○	○						5	5~7月	8~9月	0	
地力増進緑肥	まめ助	ベッチ類	マメ科	○										○	○					5	5~6中	7中~8中	6~8	小麦や早出し作物後に播種出来るマメ科緑肥。 被覆が早く、雑草を抑制。 根粒菌も着生。 初期生育が緩慢なので覆土・鎮圧に気をつける。 播種が遅れる場合はまめ助たかに切り替える。	
	まめゆたか						○													5/3混播	7下~8下	10中~下	2~5		
	はるかぜ	アクロロバ	マメ科			○								○	○					2~3	5月	9~10月	6~7.5	遊休地の地力対策に最適。 緑肥用比に比べ圧倒的に多収。 根粒菌により空中窒素を固定。	
	ソフィア	ヒマワリ		○									○	○						2	5上~8中	開花期後	検計中		極早生のミニヒマワリ、短期で生育旺盛・極多収。 VA菌根菌でリン酸の有効利用を。
景観緑肥	キカラシ	シロカラシ	アブラナ科			○							○	○					○	2~3	5~6中	6下~7下	4~6	エンバク以上に生育旺盛で多収。 8月下旬播種では圧倒的に多収。 黄色い花は「キカラシロード」として有名に。 アブラナ科の跡や排水不良地は避ける。	
	アンジェリア	ファセリア		○									○	○					○	2~3	5~6月	7~8月	検計中		春播きで生育旺盛。被覆が早く雑草を抑制。 紫色のきれいな花で環境美化を。
	くれない	クリムソンクローバ	○									○	○	○					○	2~3	5~6月	7~8月	6~8	1年生で1回刈りの極早生春播きクローバ。 タマネギやベットの跡地に最適。豊富な根群で土壌改良を。 耐寒性に優れた多収品種。 越冬させて早春の土壌浸食防止に最適。	
越冬緑肥	きたみのり	ライムギ	イネ科	○							○	○	○						○	15	9月	年内	0	タマネギやベッドの跡地に最適。豊富な根群で土壌改良を。 耐寒性に優れた多収品種。 越冬させて早春の土壌浸食防止に最適。	
防風作物	とちゆたか	エンバク	イネ科	○							○	○	○						○	10	休閑:15~20 間作:5~8	5~6中	7中~8中	1~4	耐霜、耐倒伏性の直立性エンバク。 カボチャの敷藁緑肥や早春の防風作物に最適。 タネバレイシヨの隔離作物に好評。
							○						○	○	○					○	10	5月	適時	0	